

決算のご報告(第2四半期)

■ 定性情報

当第2四半期の業績は、連結売上高は669億円(前年同期比105.4%)、営業利益25億円(前年同期比107.4%)と前年同期比増収増益となりました。角川書店の夏恒例の文庫フェアが好調であったこと、また初のグループ横断コミックフェア「角☆コミ2010夏」の成功により、書籍販売が大きく伸びたため、出版事業が大幅増収となりました。なかでもテレビドラマ化やアニメ化された作品が大きな重版となりました。

営業利益の増益は、書籍販売の好調により出版事業が前年同期比12億円の大幅増益となり、映像事業とクロスメディア事業の損失を補った結果、営業利益は前年同期比107.4%となりました。映像事業の損失は、上期にヒット作品が少なかったことが主要因ですが、当初計画が下期偏重だったことでもあります。クロスメディア事業は、主な収入源である雑誌販売収入・広告収入の売上高が落ち込み、前年同期比で赤字幅が拡大しました。しかし

多くの企業が広告費を削減し販売促進に力を入れるなか、販売促進費の取り込みに力を入れ、その甲斐あって広告収入は、純広告の落ち込みをカスタムマガジンである程度下支えできるようになっています。

四半期純損失は第1四半期に計上した当社が保有する一部の有価証券の評価損23億円を特別損失として計上したことが大きな要因です。その結果、四半期純損失は△21億円となりました。

■ セグメント情報(要約)

当第2四半期連結累計期間(自2010年4月1日 至2010年9月30日)

※「IR・財務情報」等はホームページにおいて閲覧できます。http://www.kadokawa-hd.co.jp/ (単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結損益計算書 計上額(注)2
	出版事業	映像事業	クロスメディア事業	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	44,189	14,437	8,248	66,875	—	66,875
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,848	785	5,120	7,754	△7,754	—
計	46,038	15,223	13,369	74,630	△7,754	66,875
営業利益又は営業損失(△)	3,849	△554	△335	2,959	△471	2,487

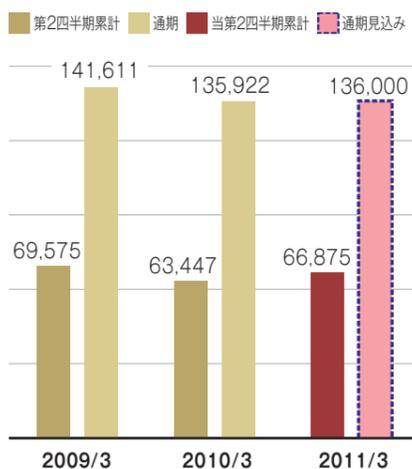
●当社グループは、「出版事業」「映像事業」及び「クロスメディア事業」の3つを報告セグメントとしております。「出版事業」は、出版物の編集、製作、販売、物流等を行なっております。「映像事業」は、映画の製作、輸入、配給、興行並びにDVDソフトの製作、販売等を行なっております。「クロスメディア事業」は、生活・情報系雑誌の編集、製作、販売並びにデジタルコンテンツの制作、販売等を行なっております。

(注)1.セグメント利益又は損失(△)の調整額△471百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△491百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

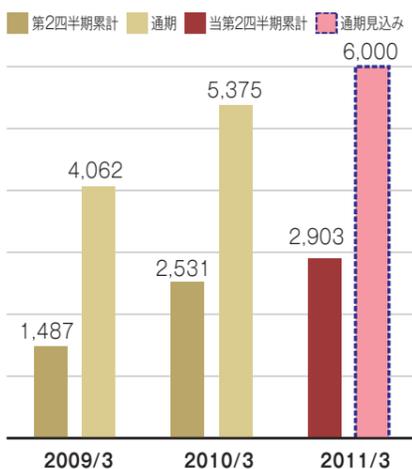
2.セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行なっております。

■ 業績の推移

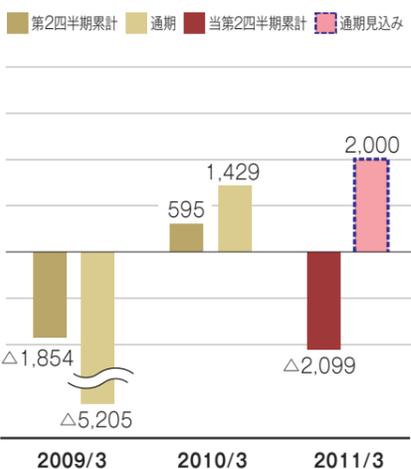
● 売上高 (単位:百万円)



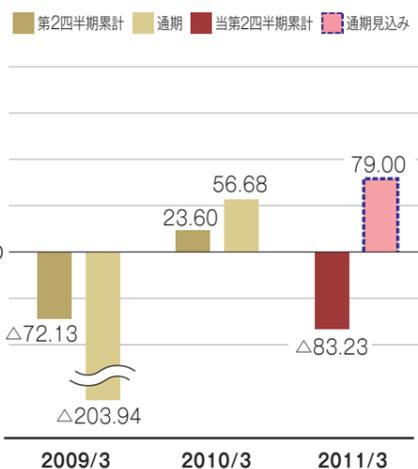
● 経常利益 (単位:百万円)



● 四半期(当期)純利益 (単位:百万円)



● 1株当たり四半期(当期)純利益 (単位:円)



プレゼントのお知らせ

今回の読者プレゼントは、角川映画が自信を持っておくる今期最大の期待作、3月19日公開予定の「漫才ギャング」のペアチケットを10名様にプレゼントします。また、美水かがみ先生書下ろしで、学習参考書として異例のヒット作となったグループ横断のコラボレーション作品「らき☆すと学ぶ化学【理論編】」を10名様にプレゼントします。

ご希望の方はいずれかご希望の商品を明記のうえ、KADOKAWA NEWSのご感想や経営に関するご質問とともに、お名前とご住所をご記入のうえご応募ください。抽選にてそれぞれ10名様にプレゼントします。

プレゼント

「漫才ギャング」ペアチケット 10名様
「らき☆すと学ぶ化学【理論編】」 10名様

あて先

〒102-8177 東京都千代田区富士見2-13-3
株式会社角川グループホールディングス
IR・広報室「プレゼント」係まで

●2011年1月14日消印有効

発表は発送をもって替えさせていただきます。なお、取得した個人情報は当選者の方に商品を発送するためだけに使用し、他の目的では使用いたしません。

■ 会社役員

取締役 会長	角川 歴彦
代表取締役社長	佐藤 辰男
常務取締役	井上 伸一郎
取締役	福田 全孝
取締役	関谷 幸一
取締役	椎名 保雄
取締役	谷口 常貴
取締役	山口 康明
取締役	高山 眞樹
取締役	松原 英夫
社外取締役	清水 健次
社外取締役	久野良木 康
社外取締役	船津 武真
常勤監査役	江川 靖
常勤監査役	水島 真
社外監査役	池田 靖
社外監査役	渡邊 顯

■ 株主メモ

事業年度 4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会 6月中
定時株主総会の基準日 3月31日
株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
同 連絡先 〒137-8081 東京都江東区東砂7丁目10番11号
TEL 0120-232-711 (フリーダイヤル)
上場証券取引所 東京証券取引所
公告の方法 電子公告
公告掲載URL http://www.kadokawa-hd.co.jp/
(ただし、電子公告によることのできない事故、その他のやむを得ない事由が生じた時には、日本経済新聞に公告いたします。)

(ご注意)

- 株主電子化に伴い、株主様の住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

株主の皆さまの声を聞かせてください

当社では、株主の皆さまの声を聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。

<http://www.e-kabunushi.com>
アクセスコード 9477

いいかぶ 検索 Yahoo!、MSN、exciteのサイト内にある検索窓に、いいかぶと4文字入れて検索してください。

空メールによりURL自動返信 kabu@wjm.jpへ空メールを送信してください。(タイトル、本文は無記入) アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。

●アンケート実施期間は、本書がお手元に着してから約2ヶ月間です。ご回答いただいた方の中から抽選で薄謝(図書カード500円)を差しさせていただきます。

※本アンケートは、株式会社エーツーメディアの提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。(株式会社エーツーメディアについての詳細 <http://www.a2media.co.jp>) ※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます。事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

●アンケートのお問い合わせ TEL:03-5777-3900(平日 10:00~17:30) [e-株主リサーチ事務局] MAIL:info@e-kabunushi.com

角川グループホールディングスのホームページはIR・財務情報に加え、皆さまに角川グループの事業内容をより深くご理解いただけるよう、グループ各社の最新情報や話題、事業展開などを掲載しております。ぜひご覧くださいませようお願い申し上げます。

<http://www.kadokawa-hd.co.jp/>

角川グループホールディングス

KADOKAWA GROUP HOLDINGS, INC.
株式会社 角川グループホールディングス
〒102-8177 東京都千代田区富士見2-13-3
電話 03-3238-8411



CONTENTS

- 社長メッセージ
- CLOSE-UP
- トピックス
- 製作の現場から
- 第2四半期おもなヒット作品
- この冬の注目コンテンツ
- 決算のご報告
- プレゼントのお知らせ

さらなる飛躍にむけた挑戦



代表取締役社長
佐藤 辰男
TATSUJO SATO

第2四半期決算は売上高・営業利益ともに前年同期を上回り、増収増益の決算となりました。増収増益の背景としては、角川グループが得意とするメディアミックス展開により、ライトノベルやコミックが予想を上回る売上となったことや、構造改革の進捗による収益力の向上があげられます。また、キッズ、実用、女性、海外など新たな領域の開拓による出版事業の拡大も順調に進んでいます。

しかし、今後激動期を迎えるコンテンツビジネス市場において、グループの成長を継続していくため、より大胆な挑戦が必要であると考え、具体的施策を今秋続けて発表いたしました。ひとつが角川グループ独自の電子書籍プラットフォーム「BOOK☆WALKER」の立ち上げであり、もうひとつが角川書店と角川映画の合併をはじめとする2011年1月実施予定のグループ企業再編です。

【電子書籍への積極的な取り組み…BOOK☆WALKER】

10月26日、電子書籍を中心としたコンテンツ配信プラットフォーム「BOOK☆WALKER」の発表会を開催し、11月12日には「電子書籍・コミックサミットin秋葉原」の会場にてサービスとラインナップの発表を行ないました。(詳細P2「電子書籍へ積極展開」をご参照下さい)

すでに様々な業種から電子書籍プラットフォームの立ち上げや提携の発表がされるなか、あえて角川グループが出版社として独自のプラットフォームを立ち上げる意味は何か。私たちのプラットフォームが、私たちの掲げる「メガソフトウェア・パブリッシャー」というビジョンを体現すると予想できるからです。「BOOK☆WALKER」は、単なるデジタル化された小説やコミックの提供に留まらず、映像や音声を組み合わせたデジタルならではの新しいコンテンツの提供、映像配信やソーシャルゲーム、様々なキャラクターグッズのネット販売を行なうなど、ユニークでオンリーワンなプラットフォームとなります。

また、ユーザー獲得のために様々なWebメディアとも連携してまいります。

とりわけ10月28日に発表しました株式会社ダウンゴ様との業務提携は、私たちの持つコンテンツと親和性の高いユーザーを有するニコニコ動画会員1900万人を「BOOK☆WALKER」に誘導することを目指しています。株式会社ダウンゴ様にて開発中のビューアにより、「BOOK☆WALKER」で購入したコンテンツによる新しい読書体験を提供することも「BOOK☆WALKER」の大きな特色になると期待しています。

【グループ企業再編】

前号にて、私はグループの成長を「ソフトウェア・パブリッシャー角川」「デジタル角川」「海外角川」の3つのピラミッドにたとえて説明させていただきました。

特に「ソフトウェア・パブリッシャー角川」強化のためには映像事業の復活が急務であるとの認識のもと、その究極の実行策として角川映画と角川書店の合併を行なうことにしました。(詳細下記「CLOSE-UP」をご参照下さい)

昨今、映画のヒット作のほとんどが小説やコミックを原作としていることは、皆さまもご承知のとおりです。この状況を背景に、出版で得たマーケティングデータを映画化作品選定や対象

ターゲットの絞込みに大いに活用する、原作の内容やユーザー層に精通した編集者が映画製作に大きくかかわっていく、書店店頭における映画関連作品の展開や宣伝効果を徹底的に行なうなど、「書店」と「映画」の融合は、メディアミックスの効果を最大化する妙手となるでしょう。

また、雑誌事業においては、構造改革により逆境を耐え新たなビジネスチャンスをつかむ体制の構築を進め、一定の効果をあげています。これをより一層進めるため、角川マーケティングと角川SSCを合併いたします。業務の効率化や広告営業力の強化を進めるだけでなく、両社の得意とするジャンルを活かし、当社グループの成長事業であるカスタムマガジンの強化にも取り組んでまいります。

いよいよ各社電子書籍端末の発売やプラットフォームのサービス開始を機に、コンテンツビジネスの市場は激動期に突入してまいります。新たな時代に向けて角川グループも先進的施策を実行してまいります。株主の皆さまにおかれましては、今後も変わらぬご理解とご支援を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

CLOSE-UP

グループ企業再編 (子会社の合併)

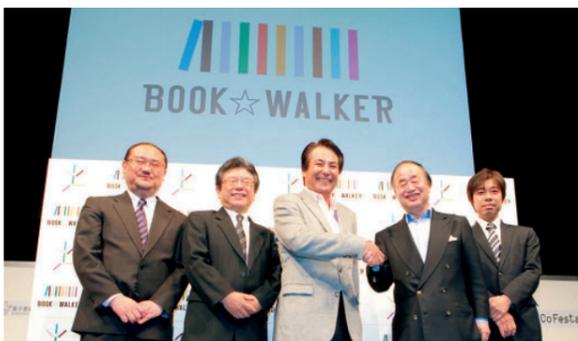
メガソフトウェア・パブリッシャーを標榜する角川グループは、既存の出版事業に留まることなく、映像事業、Webサイトやモバイルサイトなどのネット関連事業、アジアを中心とする海外展開など事業領域の拡大による継続的な成長を目指しております。

その過程において、出版と映像の一体化によるメディアミックスの強化、および電子書籍を含めた新たなデジタルメディア時代の要請に応え、更なる成長を目指すことを目的として、株式会社角川書店と角川映画株式会社、株式会社アスキー・メディアワークスと株式会社魔法のiらんどを合併します。また雑誌事業における競争力強化、および電子書籍を含めた新たなデジタルメディア時代の要請に応え、更なる成長を目指すことを目的として、株式会社角川マーケティングと株式会社角川・エス・エス・コミュニケーションズ、株式会社角川コンテンツゲートとワーズギア株式会社を合併します。

合併目的	存続会社	新会社発足日
出版と映像の一体化によるメディアミックスの強化、映像事業の強化	株式会社角川書店 + 角川映画株式会社	2011年1月1日
携帯小説の創出から出版化・映像化までを一気通貫することによるCGM事業の収益化	株式会社アスキー・メディアワークス + 株式会社魔法のiらんど	2011年1月1日
雑誌事業の統合による経営基盤の強化、広告事業の強化	株式会社角川マーケティング + 株式会社角川・エス・エス・コミュニケーションズ	2011年1月1日
デジタルコンテンツ配信事業の一体運営による効率化	株式会社角川コンテンツゲート + ワーズギア株式会社	2011年1月1日

電子書籍へ積極展開

角川グループが電子書籍を中心としたコンテンツ配信プラットフォーム事業に本格参入！



角川グループのコンテンツ配信事業会社である角川コンテンツゲートが、グループの資

産を活かし、電子書籍を中心とするデジタルコンテンツを提供販売する直営プラットフォームBOOK☆WALKERを立ち上げました。11月に開催された「電子書籍・コミックサミットin秋葉原」において催された、角川グループBOOK☆WALKERラインナップ発表会の関心も高く、出版関係者やマスコミの方々を中心としたイベントでありながら、非常に多くの方々が参加されました。発表会には作家・大沢在昌氏（写真中央）

【今後の展開スケジュール】

- 2010年12月、iPad/iPhoneアプリサービス開始
【対応端末】 iPad/iPhone
- 【書籍ジャンル】 ライトノベル、コミック、文芸書の一部
- 【作品数】 オープン当月は約100作品。その後、2011年1月より毎週20作品前後を追加する予定
- 2011年4月、BOOK☆WALKERサービス開始
【対応端末】 Android OSを含むスマートフォ

- ン、タブレット端末、PC等
- 【書籍ジャンル】 ライトノベル、コミック、文芸、新書、雑誌、実用書、写真集等
- 【作品数】 オープン当初は約1000作品を予定。その後、角川グループ以外の出版社やコンテンツプロバイダーの参加を募りながら、順次拡大予定
- 2011年7月、BOOK☆WALKERグランドオープン

角川グループとドワンゴが電子書籍や各種コンテンツの配信に関して業務提携

株式会社角川グループホールディングスと株式会社ドワンゴは、角川グループが有する映画、アニメ、書籍、コミック、情報誌、ゲーム等のコンテンツを株式会社ドワンゴと株式会社ニコンゴが共同運営するネット上のサービス「ニコニコ動画」にて展開するほか、各種連携を行なうことを目的に業務提携することになりました。BOOK☆WALKERで購入した電子書籍の一部をニコニコ動画で新たに提供される電子書籍ビューアで閲覧が可能となり、ニコニコ動画のユーザーは角川グループの人気コンテンツで新たな読書体験ができるようになります。

今後はニコニコ動画内に、角川グループが保有するコンテンツを配信する公式チャンネルを設け、ここでしか見ることのできないオリジナルアニメを製作・配信することも検討します。また公式チャンネルから、現在ニコニコ動画内で活躍する優秀なクリエイターの

品を追加する予定です。2010年12月3日にはiPad/iPhone向けアプリの提供を開始しました。2011年4月にはAndroid OSを含むスマートフォンやタブレット端末、PCに順次対応し、7月にグランドオープンを目指します。

皆さんが、新たに立ち上げる作品(映像、音声、静止画、その他)を発掘・育成し、将来的には角川グループの各種媒体での書籍化、コミック化、さらには映画化、アニメ化等へつなげることも検討します。

角川グループのゲーム雑誌と組んだ、ゲームの発売前夜祭イベントを実施し、イベントの模様をニコニコ動画にて配信します。現在「ニコニコ動画PC」で、毎週テレビ放送後に最新話を無料配信して大人気を博しているアニメ「俺の妹がこんなに可愛いわけがない」とある魔術の禁書目録2」の、「ニコニコ動画モバイル配信」を10月28日より開始しました。

会員数1900万人を誇るニコニコ動画のユーザーと角川グループのコンテンツユーザーは親和性も高く、今回の提携によってニコニコ動画の会員にBOOK☆WALKERのユーザーにもなっていただけるような施策を打っていきます。

製作の現場から

電子書籍やソーシャルゲームなど、インキュベーション事業を営む株式会社角川コンテンツゲートの安本洋一常務に、電子書籍をはじめとしたコンテンツ配信プラットフォーム「BOOK☆WALKER」について話を聞きました。



安本 洋一

角川コンテンツゲート常務取締役
角川プラットフォーム推進プロジェクトリーダー

■ まず「BOOK☆WALKER」について教えてください。

「BOOK☆WALKER」は角川グループが運営するネット書店（販売プラットフォーム）です。BOOK☆WALKERは、ファンが欲しがると関連商品やサービスも揃えていることに特色があります。ですから電子書籍だけではなく、映像配信、ソーシャルゲームやグッズの販売まで行ないます。BOOK☆WALKERの立ち上げにあたり、角川グループの出版社10社が参加し、今後はグループ外の会社にも参加を呼びかける予定です。ただ、BOOK☆WALKERが目指すのは「総合書店」ではなく、ユニークなコンテンツを扱う「専門店の集合体」ですから、角川グループとの親和性が高いコンテンツプロバイダーや、コンテンツの価値が高まるサービスを提供できる会社になるでしょう。

■ コンテンツの価値が高まるサービスとは？

紙と電子を連携させられれば面白いと思います。例えば、本にシリアルナンバー



を入れて、本を買った人がBOOK☆WALKERにシリアルナンバーを打ち込むと、本にはなかったイラストが手に入ったり、映像を見ながら作品の世界観を楽しんだりできることです。あくまで我々は出版社ですから、紙と電子が共存できるようなビジネスをやりたい。本で購入すれば電子で欲しくなり、電子で購入すれば本が欲しくなるようなものをです。

■ BOOK☆WALKERが稼動するまでのスケジュールは？

12月からiPad/iPhone向けに書籍や雑誌の供給がスタートします。そこでは、どういうユーザーが買ってくれるのか、どういう作品が電子の中で人気があるのかといった実証実験を行ないながらサービスを対応させていきます。そして4月には、iPad/iPhoneに加えて、Android OS端末にも反映させる予定です。同様に4月からはAndroid OS端末向けの実証実験を行ないながら、解析結果をサービスに反映させ、7月のグランドオープンを迎えたいと考えています。

■ BOOK☆WALKERのような販売プラットフォームを持つことの意義は？

販売プラットフォームを持つことで、お客様の属性や嗜好を知ることができます。

それらは出版社がこれまで持ち得なかった情報です。それがどれほどコンテンツプロバイダーにとって有益かはわかりませんが、それをマーケティングにも活かすことができるし、コンテンツ制作に活かすことにも有益です。そしてそれらをノウハウとして蓄積することもできます。

■ 10月にドワンゴとの提携が発表されましたがその影響は？

とても大きいです。今、ドワンゴが運営する「ニコニコ動画」のユーザーは1900万人います。そして角川グループとの親和性が高いことが知られています。例えば、10月にスタートしたTVアニメ「俺の妹がこんなに可愛いわけがない」（原作：アスキー・メディアワークス）をニコニコ動画で無料配信した結果、わずか3日で50万回も再生されました。また提携が発表されたのはニコニコ動画のファンイベントニコニコ大会議の会場ですが、角川グループとドワンゴの提携が発表された時、会場は大歓声に包まれました。その時、私も会場にいましたが、参加者の方々に非常に好意的に受け止められたと実感することができました。まさに、ニコニコ動画の会員をBOOK☆WALKERに誘導することができるこの提携は、大きなビジネスチャンスとなるでしょう。

■ ニコニコ動画と連携することでサービスが変わるのですか？

ニコニコ動画は、動画を見ながらユーザー同士で書き込みを楽しむコミュニケーションサイトです。これを電子書籍でやろうと考えており、電子書籍では初の試みです。サービス開始に向け、ドワンゴに「ニ



iPadアプリ「アニメロイド」[涼宮ハルヒのBOOK☆WALKERナビ]コンテンツを選択/購入できるナビモードでは、涼宮ハルヒによるレコメンドが行なわれます。
©2006谷川流・いとうのいぢ/SOS団
©2007、2008、2009谷川流・いとうのいぢ/SOS団

ニコニコビューア（仮称）」を製作していただいています。ニコニコビューアの登場で、新たな読み方ができるようになります。これまで読書はひとりでするのが当たり前だったのですが、ニコニコビューアを通じてコメントを共有しながら読書が楽しめるようになるのです。「このコマいいよね」「この表情最高だね」「この展開ありえねえ」とか、皆で共感しながら読書ができるのです。

■ どこで買ったコンテンツもニコニコビューアで楽しめるのですか？

あくまでBOOK☆WALKERで買ったコンテンツだけです。ニコニコビューアを通じてBOOK☆WALKERのユーザーは、新たな体験ができるようになります。まさにニコニコ動画との提携は、コンテンツの価値を高められる提携といえます。またニコニコ動画のユーザーはコンテンツを楽しむことに長けています。彼らに角川グループのコンテンツをどうやって楽しんでもらうかは、チャレンジングでとてもワクワクする使命です。今後の展開に御期待いただければと思います。

第2四半期おもなヒット作品

7月から9月までの3ヵ月間は、コミックと文庫の販売がとくに好調で、出版事業を牽引しました。コミックでは、7月から始まった角川グループとして初のグループ横断のコミックフェア「角☆コミ」が成功裡に終わりました。また7月にスタートしたTVアニメ作品のヒットが後押ししました。その結果、コミック販売は前年同期比119%となり、9年連続売上増に向け順調な推移となっています。なかでも7月

からTVアニメ放送された「学園黙示録 HIGHSCHOOL OF THE DEAD」が人気を呼び、原作コミックが期待をはるかに上回る大ヒットとなりました。一方文庫では、文庫の夏フェア「角川文庫夏の100冊」も好調で、文庫売上高は前年同期比114%となりました。とくに「夜明けの街で」(著/東野圭吾)やTVドラマになった「美丘」(著/石田衣良)などの販売が好調でした。

単行本	マリアビートル
文庫	夜明けの街で
	美丘
ライトノベル	とある魔術の禁書目録⑫
	フルメタル・パニック!⑫
コミック	テルマエ・ロマエII
	学園黙示録 HIGHSCHOOL OF THE DEAD⑥
	ガンダム THE ORIGIN⑫
DVD/BD	生徒会の一存
	そらのおとしもの
ゲーム	メタルマックス3
	デュラララ!! 3way standoff

広州のコミックフェア「中国国際漫画節ACG(アニメコミックゲーム)」開催 広州天間角川動漫有限公司が出演

2010年10月1日から始まった「中国国際漫画節ACG(アニメコミックゲーム)」に角川グループの中国拠点である広州天間角川動漫有限公司が出演しました。角川グループの誇る日本発のライトノベル5作品と台湾発のライトノベル1作品、計6作品が発売されました。また「灼眼のシャナ」の高橋弥七郎先生、「生徒会の一存」の葵せきな先生によるサイン会も催され、角川グループ作品が並んだブースは大変な盛況となり、ライトノベル正規本の会場販売も好調でした。



アニメから劇場版へ—メディアミックスに新たな付加価値—

角川グループのコミック販売は8年連続で伸びており、そこからアニメ化された人気コンテンツを劇場版として新たに展開していきます。2010年2月に劇場公開された「涼宮ハルヒの消失」は小規模上映にもかかわらず、8億円

を超える興行収入をあげました。「ストライクウィッチーズ」や「そらのおとしもの」が劇場版となることが発表され、今後はアニメ化で実績のある旬な作品を劇場版として展開することで、メディアミックスの裾野を拡大し、収益向上につなげていきます。

本年度最高の期待作「漫オギャング」3月19日公開!!



前作「ドロップ」では興行収入20億円の大ヒットを生み出した品川監督作品第2弾「漫オギャング」が2011年3月19日に公開されます。今回も品川監督が原作・脚本の3役を兼ね、満を持しての製作映画となりました。また原作が角川書店のコミック雑誌「ヤングエース」にて連載がスタートしました。「漫オギャング」

は、角川グループが得意とする出版と映像のメディアミックス効果が大いに期待できる作品です。

【ストーリー】一向に売れない漫オコンビも解散し、ヤケになった男「飛男」はトラブルに巻き込まれて留置場送りになってしまう。そこでストリートギャングで喧嘩にあけくれる男「龍平」と奇跡の出会いをする。龍平にツッコミの才能があることに気付き、飛男はあることを思いつく。「あのさ・・・俺とコンビ組まない?」。笑いはもちろん、恋愛や友情ドラマの興奮、アクションシーンもふんだんに盛り込まれた青春エンタテインメント。

「らき☆すた」が学習参考書に登場!!

中経出版社の学習参考書に角川書店の人気コミック「らき☆すた」に登場するキャラクターが登場!! 「らき☆すたと学ぶ化学[理論編]」が面白いほどわかる本」として10月7日に発売されました。学習参考書としては異例の初版2万部にもかかわらず、発売後すぐに重版が決定(11月19日現在第3版)するほどの人気となっています。ひきつづき「涼宮ハルヒ」や「ケロロ軍曹」といった角川グループの人気キャラクターが学習参考書に登場する予定です。

学習参考書にコミックやアニメで活躍するキャラクターが登場するという初の試みが成功したことで、グループの人気コンテンツの展開を学習参考書という新たな領域へと広げることができました。今後もグループシナジーを高めるような施策を行なっていきます。



この冬の注目コンテンツ

単行本	
「カルテット3」 1月 著/大沢在昌	角川書店
「カルテット4」 2月 著/大沢在昌	角川書店
「ぼんぼ憑き」 2月 著/宮部みゆき	角川書店
「レヴォリューションNo.0」 著/金城一紀	角川書店
文庫/ライトノベル	
「シアター!2」 1月 著/有川浩	メディアワークス文庫
「嘘つきみーくんと壊れたまーちゃん⑩」 1月 著/入間人間、イラスト/左	電撃文庫
「デュラララ!!×9」 2月 著/成田良悟、イラスト/ヤスダスズヒト	電撃文庫
「とある魔術の禁書目録⑬」 3月 著/鎌池和馬、イラスト/灰村キヨタカ	電撃文庫
「GOSICK'sⅢ」 1月 著/桜庭一樹	角川文庫
「オール ミッション2」 著/山田悠介	角川文庫
「万能鑑定士Qの事件簿Ⅷ」 著/松岡圭祐	角川文庫
「SPEED」 著/金城一紀	角川文庫
コミック	
「機動戦士ガンダムTHE ORIGIN⑫」 1月	角川コミックス・エース
「とらドラ!④」 1月	電撃コミックス
「放課後プレイ3」 1月	電撃コミックスEX
「とある科学の超電磁砲⑥」 2月	電撃コミックス

ゲーム	
「そらのおとしもの f Dreamy Season」 1月27日	NDS
「エビコレ+アマガミ」 1月27日	PS2、PSP
「涼宮ハルヒちゃんの麻雀」 2月24日	PSP
映画	
「嘘つきみーくんと壊れたまーちゃん」 1月22日	
「漫オギャング」 3月19日	
DVD	
「そらのおとしもの f」 BD/DVD シリーズ毎月第4金曜日発売	
「FORTUNE ARTERIAL 赤い約束」 BD/DVD シリーズ毎月第4金曜日発売	
「Panty&Stocking with Garterbelt」 BD/DVD シリーズ毎月第4金曜日発売	
「ストライクウィッチーズ2」 BD/DVD シリーズ毎月第4金曜日発売	
TVアニメ/ドラマ	
「カルテット」 TBS系	ドラマ
「これはゾンビですか?」 テレビ埼玉ほかU局系	アニメ
「GOSICK」 テレビ東京系	アニメ

※あくまでも予定であり、変更になることがあります。